

2019年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 一宮商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考		
				目標①			目標②			得られた効果	ABCD評価					今後の展開・改善点等	
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施側の評価	自己評価	調査結果	満足度		必要性	目標①
巡回・窓口相談指導事業	一般に経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に、経営指導員等商工会職員が事務所へ訪問し、融資・税務・労務相談等経営全般について対応することにより経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	1. 巡回窓口相談指導延件数 474件 2. 巡回窓口指導実企業数 142件 3. 課題解決提案件数 11件 4. 経営革新承認件数 1件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 98.8 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 55.0 %)	事業者の必要時に専門家派遣を行い、内容の濃い経営支援ができた。また、事業者においても、知識の習得が図れた。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	課題提案の目標数値が下回っているため、次年度は経営発達支援計画が認定されたこともあり、目標数値をクリアできるような支援を行う。
記帳継続指導	商工会職員が、個人事業主を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結び付ける。	1. 指導対象事業所数 38件 2. 指導日数 233日 3. 指導回数 567回	小規模事業者	指標	指導対象事業所数 (達成度 102.7 %)	指標	(達成度 %)	記帳方法の指導、決算・確定申告の指導により適正な税務申告と計数管理による経営力向上につながった。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 補足	目標① 上げる	目標② 実施方法① 実施方法②	引き続き適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上を図る。
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労務・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	1. 集団講習会 実施回数 5回 参加者数 117人 2. 個別講習会 実施回数 12回 参加者数 41人	小規模事業者	指標	実施回数 (達成度 100.0 %)	指標	参加者数 (達成度 79.0 %)	事業者が必要としている内容のセミナーを開催し、事業者の経営改善、資質の向上につながる事ができた。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 補足	目標① 上げる	目標② 上げる	次年度、経営発達支援計画に伴うセミナー(経営分析・事業計画策定)を実施するため目標を上げ、持続可能な経営判断の強化につなげる。
若手後継者等育成事業(青年部・女性部事業)	商工業者の後継者である青年、若手後継者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上を図る為の講習会・研修会を開催し、小規模企業の振興・発展を目的とする。	1. 青年部活動 勉強会、先進地視察等他 ①加入者数 14人 ②参加者数 176人 2. 女性部活動 教養講座他 ①加入者数 40人 ②参加者数 159人	小規模事業者	指標	加入者数 (達成度 90.0 %)	指標	参加者数 (達成度 98.5 %)	青年部員・女性部員による積極的な事業参加があり、講習会、研修会等を実施し、内容の濃い活動ができた。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 補足	目標① 下げる	目標② 現行どおり	女性部の加入者数が減少傾向であるため、加入者数の目標数値を下げて進めていく。
地域振興祭り事業	本宮まつりを開催することによりその集客力を活かして地域の経済活動を促進し地域の商店並びに商品の知名度の向上に努め地域観光資源(本宮の湯、砥鹿神社他)PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	1. 本宮まつり ①実施日 11月3日(日) ②出店数 24件 ③来場者数 7,000人	小規模事業者	指標	来場者数 (達成度 70.0 %)	指標	(達成度 %)	青年部、女性部をはじめ、協賛団体、事業者の出店により地域産業のPRをすることができた。	総合評価	C	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 C	満足度 補足	目標① 下げる	目標② 実施方法① 実施方法②	次年度、来場者の目標数値を下げ、イベントのメインの再構築、集客のアイデアを練り直し模索しながら、進めていく。
産業活性化事業	商業部会による年末大売り出しを実施することで事業所及び地域の活性化を目的とする。	1. 商業部会連合年末ジャンボ大売り出し ①実施日 12月5日から5日間 ②三角くじ販売口数 134口	小規模事業者	指標	三角くじ販売口数(セット) (達成度 121.8 %)	指標	(達成度 %)	参加店は減少したが、セット数を多く購入する店舗が数店あったので販売セット数目標数値をクリアした。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 A	満足度 補足	目標① 上げる	目標② 実施方法① 実施方法②	次年度、販売セット数の目標数値を今年度の実績に近い数値に設定し事業を進める。
情報化推進事業	情報通信技術を活用して、会員事業者等にとって有益な情報を取得したり、ビジネスチャンスの拡大や経営の質を高めるための取り組みを実施し、商工業の活性化に寄与する。	1. 一宮商工会ホームページによる小規模事業者、地域住民への情報提供 一宮商工会HP更新数 148回	小規模事業者	指標	一宮商工会HP更新回数 (達成度 98.7 %)	指標	(達成度 %)	事業者にとって有益な情報を提供でき、商工業の活性化につながった。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法②	引き続き、有益な経営情報を発信し、商工業の活性化を図る。
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正徴収を図ることを目的とする。	1. 事務委託事業所数 28件 2. 従業員数 197人	小規模事業者	指標	事務委託事業所数 (達成度 93.3 %)	指標	従業員数 (達成度 109.4 %)	労働保険の適正な事務処理ができた。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 補足	目標① 現行どおり	目標② 上げる	間違いのない事務処理と迅速な対応を続けていく。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2019年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 一宮商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考							
				目標①			目標②			得られた効果	ABCD評価					今後の展開・改善点等						
				指標	加入者数 (達成度 93.3 %)		指標	事業等参加者数 (達成度 118.9 %)			総合評価	A	事実評価	自己評価		事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②		
経営強化事業(一宮経済同友会)	各種懇談会、講演会、異業種交流会等の事業を実施し、企業交流の場の提供、各企業の経営基盤の強化、ビジネスチャンスの創出により、地域の商工業の発展に寄与することを目的とする。	1. 加入者数 42人 2. 役員会等会議 ①実施回数 13回 ②参加者数 162人 3. 事業 ①実施回数 8回 ②参加者数 171人	小規模事業者	指標	45	実績数値	42	指標	280	実績数値				333	総合評価		A		事実評価	A	事業者への調査結果	B
産業団体	発展会や各種団体等、産業振興・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地域公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	1. 産業団体加入事業所数 飲食店組合 41件 お楽しみ会 7件 繊維部会 3件 環境部会 18件	小規模事業者	指標	70	実績数値	69	指標		実績数値		総合評価	B	事実評価	B	事業者への調査結果	B	満足度	補足	目標①	目標②	おたのしみ会が元年度で解散し目標数値を下げたが、引き続き、産業団体を支援していく。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。